

平成20年度 さつき花季展示会

- 日時 5月29日～6月2日、午前9時～午後6時
5月29日(木) 午後1時～午後6時
6月1日(日) 午前9時～午後5時
6月2日(月) 午前9時～午後3時

- 会場 市民センター 301室・302室
- 内容 さつき盆栽展示
山野草・蘭等展示

問い合わせ 芦屋さつき会事務局 ☎38-2033(経済課内)



谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244

Eメール: ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【文学館講座】“ほっこり”書で遊ぶ講座

- 日時 5月18日(日) 午前10時～正午
- 内容 実用的な書を読む
- 講師 京都光華学園伝統文化科特別講師・石井みやび氏
- 定員 16人
- 受講料 3,000円
- 申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【文学館講座】作家と楽しむ読書会

- 日時 5月22日(木) 午前10時30分～正午
- 会場 講義室
- 内容 三島由紀夫著「仮面の告白」本にある背景・作家の心情などを楽しむ
- 講師 作家・柳谷郁子氏
- 定員 20人
- 受講料 2,300円
- 申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【文学講座】たつみ都志の文学に見る男と女

- 日時 5月22日(木) 午後2時～午後3時30分
- 会場 講義室
- 内容 内館牧子著「週末婚」の中で取り上げられた男と女の思いとその立場等、面白くて知的で楽しいお話。人生半分・別々の幸せについて
- 講師 武庫川女子大学文学部教授・たつみ都志氏
- 定員 24人
- 受講料 2,500円(抹茶白玉付き)
- 申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【雑学講座】日曜 男の雑学塾

- 日時 5月25日(日) 午前10時30分～午後1時30分
- 内容 「男と女の思い違い」についてのお話。田舎の昼ごはんを人生を楽しく過ごすための講座
- 講師 武庫川女子大学文学部教授・たつみ都志氏
- 定員 24人
- 受講料 4,000円(昼食代含む)
- 申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

歴史さんぽ

あしや子ども風土記

⑥

芦屋川にそって Ⅲ

芦屋川は、市内でもっとも大きい川で長さが六キロメートルあまりです。地図を見ますと、その源は、芦屋の北西の六甲山地で、西宮市との境にある白石石宝殿あたりにあって、芦屋川本谷を南に流れ、奥山の石仏谷や黒越谷などの谷水を合わせ、水車谷を過ぎ、高座川と合流して川幅が広くなり、阪急芦屋川駅付近からまっすぐ南の芦屋の海に流れ込んでいます。川には九つの橋がかかっています。

芦屋川は、むかしから人々の暮らしに、多くの影響を与えてきました。だから、芦屋川にそって北へたどって行きますと、芦屋の歴史や伝説などの跡がいくつも残っていて、そのころの人々の暮らしのようすを知ることができるようになります。



昭和初期の阪神国道



業平橋を行く国道電車(昭和初期)



阪神国道を万博会場へ向かう象の行進(昭和45年)

阪神国道(国道2号) 昭和二年、業平橋のある阪神国道は、江戸時代からあった西国街道本街道を基にして造られました。道幅を二十七m位に広げて、自動車や電車が通れるアスファルトの大道路にしました。やがて自動車のほかにバスや国道電車も走るようになりました。大阪から神戸までの距離が二十八kmの長い道です。

この国道ができたころは、まだ自動車の数も少く、業平橋の近くのレコード店から流れる音楽もよく聞え、御影

などの酒づくり会社の荷車が牛や馬に引かれてのんびり通っていました。まわりの風景も六甲山のふもとや畑と家や倉などが絵のように広がっていました。

石づくりの業平橋は、道ができて二年後につくられ、橋の欄干の四カ所に珍しい照明がつけられて、国道電車芦屋川駅のシンボルになっていました。昭和十三年に起きた「阪神大水害」で壊され、今の形になりました。

自動車は、その後も増え続け、昭和四十四年には一日に四万台も通るようになりました。国道電車は、平均五百メートルに一カ所の駅があって、人々に親しまれた乗り物でした。昭和二十八年ころには、一日に八万人の人が利用しました。しかし、車の増加でスピードも落ち、利用者も少なくなって、昭和四十九年三月十七日に廃止されました。

ノート 国道2号の一日の交通量は、四万台であり、国道43号線開通の昭和三十八年には、一日三万台、四十四年には四万台を数えるようになった。

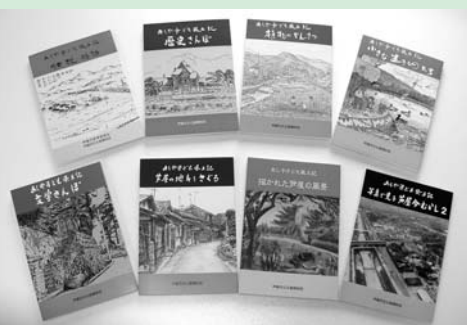
●平成五年発行の「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態でご紹介しています。

シリーズあしや子ども風土記

■「あしや子ども風土記」を美術博物館・市役所売店で販売しています。

第1集「伝記・物語」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各冊400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。

第2集「歴史さんぽ」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」は発売しました。



問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

平成19年度版 芦屋市ガイドマップ

平成19年度版「芦屋市ガイドマップ」を発行しました。

市役所北館1階行政情報コーナー、ラポルテ市民サービスコーナーで、ご希望の市民の皆さんお1人につき1部を無償で差し上げています。

*印刷部数に限りがありますので、複数部数が必要な場合は、市役所北館2階広報課へご相談ください。



問い合わせ 広報課 ☎38-2006

阪神高速

3 阪神高速3号神戸線

摩耶 ↔ 芦屋 5/29(木) 午前4時 ▶▶▶ 6/6(金) 午前6時

終日通行止

(フレッシュアップ工事中は、う回ルートを設定します。)

もっといい道が、ずっと続くために。



う回ルート・通行止・道路情報などのお問合せ

☎0120-56-1620 ※6月6日(金)の工事終了まで、終日ご利用いただけます。

料金案内やETCの各種割引サービスなどに関するお問合せ

☎06-6576-1484 ※平日/8:30~19:00、土日祝/9:00~18:00

工事内容・う回ルートについては、ホームページでご確認ください。

阪神高速 検索

8日間だけ、ごめんなさい。

先進の道路サービスへ 阪神高速

工事期間中は、周辺道路の混雑が予想されます。お車のご利用は、できる限りお控えください。電車・バス等の公共交通機関、阪神高速7号北神戸線や他の高速道路のご利用もご検討ください。ご理解とご協力をお願いします。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。